

易貿伯日の波

乾肉の大量輸出と

商船所屬船のグランデ寄港

平生經濟使二百トン、乾肉業組合は百トントンの乾肉を何れも二十五日へてはじめて横濱みせられアル? 入港のラブロタ丸にてD.G.ガード經濟使節團の歸還後可成り具體化される氣運に向つた南北河と日本との貿易關係は本年四、五月ころよりエノス市の三井支店方面の同州物産の大量買付で(ウルグアイ國境より輸出)で本格的に日伯貿易の潮に動き出す事と並んで益々拍車がかけられる事となる。左に示すは日本南大河貿易エピソードの二つ三つである。

乾肉の對日大量輸出

聖市日會承認で
ジル中央日會へ曙光

ボルト、アーレーク二十九日

發電による、この程來日本政府筋代表者と南北河乾肉輸出商方の間に取極め申す
あつた乾肉の大口取引に關する商談は首尾よく成立を見、その結果、モーデル居教會社は

聖上陛下に

躍進之日本・獻上

メンデス經濟使節

先年伯經濟使節一行として同州を出版されたがメンデス氏は「躍進の日本」と題して日本の商工業を詳細に報告した菊小版三百頁の二外務省へ送附した。

聖上陛下に

躍進之日本・獻上

ウール・ボップ領事の對商船會社交換願未を報告し次の如く述べた。

港は今一回丈け二十日、の聯邦商船會會長バーネルボーグ、カル

オニロ氏は日本國大使爲より

ノス市に回寄る報告を

於て副會長バーネルボーグ、カル

オニロ氏は日本國大使爲より

ノス市に回寄る報告を

モザイク

モザイク